

編集後記

2011年は東日本大震災という未曾有の被害をもたらした災害をきっかけに、私たちの生活様式を改めて問い直す契機となった一年でした。

今号の巻頭論文には、震災復興支援活動にその存在を印象付けた自衛隊の可能性もテーマに含んだワークショップ「ミリタリーをどうするかーガルトゥング博士とともに考えるー」の編訳を藤田明史先生にお願いしたものを掲載いたしました。

ミュージアム開館20周年を迎える2012年には、記念すべき特別展をはじめ、様々な関連企画を予定しております。それらの報告等に加え、平和教育・研究の益々の活性化に向けて、実践報告なども従来の方針通り、積極的に掲載していく方針です。平和教育や、博物館教育の実践現場から、また、カリキュラム開発の視点などから積極的な投稿を期待します。

投稿へのお誘い

1. 立命館平和研究-立命館大学国際平和ミュージアム紀要-では、以下にあげるような、広義の平和に関する研究論文又は学術実践報告の投稿を求めます。
 - ・平和に関する学術研究
 - ・平和に関する教育実践報告
 - ・博物館活動
 - ・博学連携

2. 種類と分量
掲載記事の種類と分量は、下記のとおりとし、編集委員会で決定、または承認されたものとします。
フォーマットは40字×30行とします。

①論文	12,000字～40,000字
②資料紹介	4,000字～20,000字
③研究ノート	4,000字～16,000字
④書評	4,000字～8,000字
⑤調査・研究・実践報告	4,000字～20,000字
⑥研究展望	4,000字～12,000字
⑦時評・コラム	4,000字～6,000字

3. 言語
原則として日本語、横書き、テキスト形式によるもの。
英文の原稿については、事前に編集委員会にご相談ください。

4. スケジュール
7月第1土曜日…原稿応募申込締切り
以下の情報をファックス又は郵送（ファックス書面又は封筒に朱書きで「立命館平和研究」応募と明記すること）
1 論文の題名（仮題でも可）、2 種類、3 概要、4 分量
↓

- 9月末日…原稿締切り
※受取方法:郵送のみ。封筒に朱書きで「立命館平和研究原稿在中」と明記すること。
※提出物:完成原稿と日本語要旨（200字程度）と英文タイトルと要旨（250字程度）を印刷とデジタルデータで提出。



3月上旬…刊行（予定）

5. 投稿原稿については、編集委員会が審議し、掲載、一部書き直し、返却（掲載不可）などの結果を原稿締切り後3か月以内に投稿者に連絡します。
6. 二重投稿はお断りします。
7. 論文に画像を掲載するなど、著作権許諾が必要な記事については投稿者が責任を持って許諾を得ること。
8. 備考
原稿料はお出ししません。
掲載原稿1編につき、本誌5部、抜刷りを30部進呈します。
9. 原稿提出先・お問合せ先
立命館大学国際平和ミュージアム
立命館平和研究編集委員会
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
TEL.: 075-465-8151 FAX.: 075-465-7899